



平成 31年 1月 1日

父母の会だより

第39号



豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217

FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



「プリン パフェ」

豊橋特別支援学校 中学部 大平智也

目次

1.新年のごあいさつ	1
2.愛知県の医療的ケアの現状について	2
3.心の輪を広げる体験作文	3
4.てづくり新聞	5
5.父母の会行事	7
・野外療育訓練会	
・Q&A 委員会	
・福祉機器展	
6.市・社協行事	14
・障害児(者)とボランティアのつどい	
7.愛肢連行事	15
・わいわいカーニバル	
・心身協福祉大会	
8.豊障連行事	17
・豊障連文化祭	
・豊障連体育祭	
・さくらピア避難所体験	
9.厚生労働大臣表彰受賞	21
10.友だち紹介	22
11.今後の行事予定・あしがき	23



ホームページ <https://fubonokai-toyohashi.com>

新年のごあいさつ

会長 中神 達二

新年あけましておめでとうございます。

亥年の新しい年をみなさまいかがお迎えでしょうか。亥(いのしし)は「猪突猛進」という言葉がありますが、12番目の干支で、亥年の人は、正義感に富み、熱心に何事もやり遂げる思いやりに溢れた人が多いと言われています。しかし、頑固な一面を持ち合わせ厳しい物言いをする人もいらっしゃるようです。

父母の会は、昨年11月に3年ぶりに福祉機器展(主催:豊橋市、共催:東三河B父母の会)を開催でき、進化著しい福祉機器を目にすることができたと思います。その他児童部を中心に、入学前の親の相談会「あゆみ学園Q&A委員会」や「ほいっぷゆり組講座」、通学児の親を対象とした「わいわい話そう座談会」の開催、野外療育訓練会やクリスマス会等レク活動も継続実施することが出来ました。

豊橋市としては、平成30年4月より「障害児看護支援事業」や「障害者コミュニケーション条例」が施行され、おむつの補助金に「おしりふき」が追加されました。これは大変喜ばしい事だと思います。

国の福祉施策は、障害者権利条約が平成26年に批准され、28年4月から「障害者差別解消法」が施行されました。父母の会としては昨年2月にシンポジウム「障害者差別と合理的配慮を考える」を開催しました。どんなに重い障害を持っていてもお互いに理解し尊重し合って、安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指していかなければなりません。

また昨年4月医療的ケア児の日常生活の改善を目指した「保健、医療、障害福祉、教育等関係機関」が連携した「協議の場」の設置が打ち出され、県としては「医療的ケア児支援部会」が発足し、豊橋市は既存の「医療的ケア検討会」で議論を重ねていく事になりました。医療的ケア児に合った支援が受けられるように親の立場から今後とも具体的な意見具申をしていきたいと思っています。

本年も児童部や特別支援学校・施設関連を中心に会員増強を図り、活力のある組織づくりに努め、相談体制の充実、必要な制度の見直し要望等、福祉の発展に微力ながら努力してまいります。

本年度もご支援者はじめみなさまの温かいご理解、ご協力を引き続きよろしく
お願い申し上げます。

平成30年元旦



あけまして
おめでとう

<中神が出席した会議の概要を報告します>

「医療的ケア児支援部会」

於：愛知県自治センター

30.7.5日「医療的ケア児支援部会」が開催されました。

これは28.5.26日児童福祉法の改正により、「保健、医療、障害福祉、教育、保育等関係機関」の連携体制を構築し、医療的ケア児が必要な支援を円滑に受けることができるよう、地方公共団体の努力規定が規定されたもので、関係機関が一堂に会し、継続的に意見交換や情報共有を図る「協議の場」の設置が明記され、自立支援協議会の専門部会として発足したものです。構成員は各関係機関から14名が任命され、その座長(会長)には豊田市こども発達センターの三浦センター長が選出されました。支援部会は今後年2回開催される予定です。

第一回目の内容は、医療的ケア児について各市町村の取組紹介や各委員から現状と課題について発表がありました。今後については人工呼吸器装着児の現状把握をするために、ライフステージ毎の困りごとのアンケート調査を実施することとし、詳細は会長と事務局で詰めることになりました。

今後ますます増える医療的ケア児の支援について、現状をきちっと把握し、対策をしっかりと考えて、子どもたちの幸せに繋げて行きたいと思います。

30年度「小児在宅医療推進のための多職種連携研修会」

於：豊橋市保険所講堂(30.9.8)

今年度の多職種連携研修会は下記の内容で開催されました。講演内容は

1. 先天性気管狭窄を在宅呼吸管理に移行した症例 (講師:豊橋市民病院・小児科副部長・中野優先生)
2. 小児在宅医療の特性 (講師:大谷小児科院長 大谷勉先生)
3. 小児の在宅療養を考える～医療ソーシャルワーカーの立場から～
(講師:豊橋市民病院 患者総合支援センター医療ソーシャルワーカー 早川裕子氏)
4. 小児在宅療養における訪問看護の役割
(講師:豊橋市医師会訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師 小椋泰子氏)

多職種連携研修会は3年前から開催されていて、その研修会のねらいとしては、

- ・難病患者の在宅医療や地域生活を考える機会となり支援者としての意識の向上を図る
- ・難病患者の支援者間での情報交換を活発に行い、地域全体ケアの質の向上を目指す
- ・支援者間の相互理解と役割分担により、途切れない、継ぎ目ない連携が可能となる
- ・支援者が抱え込むことなく、多職種からのサポートが得られる体制づくりを目指す
- ・これらにより、支援者自身がエンパワメント(能力の発揮、向上)される事が見込まれる等の事が期待されています。

これからも子どもたちの日常生活の向上、安心した地域支援体制構築の為に関係機関が連携していく事はとても重要だと思います。持ち場持ち場での支援よろしく願い申し上げます。

「小慢自立支援事業」

平成27年1月から始まった「小慢自立支援事業」は今年度も県を始め各市町村で開催されており、愛知県、名古屋市、豊橋市、江南市の会議に参加させていただきました。

小慢の現状把握、疾病ごとの講演会や小慢児の支援体制・支援策、親の悩み事の相談、交流会、ピアカンによる相談、知識習得等いろんな行事が開催されてきています。障害児を持たれた親御さんの悩みは尽きないと思います。みんなで支援していける体制作り、困ったときの相談体制づくりをまだまだ十分ではありません。これからもみんなで知恵を出し合い子どもたちの幸せの為につくっていきましょう。



平成 30 年度「心の輪を広げる体験作文」

内閣総理大臣賞受賞!!

毎年、障害のある方に対する理解促進を図るため内閣府・都道府県及び指定都市の共催により「心の輪を広げる障害者理解促進事業」が開催されています。平成 30 年度「心の輪を広げる体験作文」小学生部門 最優秀賞（内閣総理大臣賞・小学生部門）に『やりたいことはやってみりん』豊橋市立幸小学校 5 年生中根暖君が受賞され、12 月 5 日に永田町の合同庁舎で表彰式がありました。とても素晴らしい事だと思います。受賞誠におめでとうございます。その体験作文を紹介します。

③

「先生がいい方法を思いついたみたいだよ。」
 にこっと笑って声をかけてくれました。
 体育の時間。先生は、ぼくの右手と先生の
 左手でなわとびを回して横にならんとぶ方
 法と、先生が回すなわとびにぼくが入って向
 き合ってとぶ方法を説明してくれました。最
 初は少しはずかしかったけれど、左手になわ
 とびを固定するよりたくさんとべるのでだん
 だん楽しくなってきました。
 続けてとべるようになったので、次は
 友だちとちょっと戦いました。友だちとペアに
 なってとぶのはすごく楽しくて、もっとなん
 ばってみよやという気持ちになりました。か
 わい先生といっしょに初めて二重とびもとべ
 ました。カいっぱい高くジャンプし、耳の横
 ぐびぐびぐびと空気が鳴って、とても気持ち
 がよかったです。
 次に始まったとびはこの授業でも、かわい
 先生と湯本先生が手のつき方やみきりの方
 法をていねいに教えてくれました。とびはこ

コクサ ケー10 20x20

④

は見ていたことしかなかったから初めは不安
 だったけど、低いだんがとべると、もって高
 いだんもとべるかもという気持ちになりました。
 た。勇気を出してちょっと戦ってみました。右
 だけで五だんまでとべるようになりました。
 いつのまにかきらいだった体育が、楽しみな
 時間になつていきました。先生にも本当の
 気持ちを話せるようになりました。
 しょうがいがあると本当はやりたくてもあ
 きらめてしまうことがあるようにぼくは思
 います。でも、ぼくのなわとびみたいに自分の
 気持ちを話してみたら、だれかがいっしょに
 考えてくれたり、いい方法が見つかるかもし
 れません。できないと思っていたことができ
 たり、すきなことに変わるかもしれない。
 今年の運動会。ぼくはきば戦にちゅう戦し
 ました。先生とお母さんのことばがぼくに勇
 気くれたからです。
 「やりたいことはやってみりん。
 応えんするでね。」

コクサ ケー10 20x20

<お母さんの想い>

父母の会の活動に子どもたちといっしょに関わることで、子どもたちがいろいろな人との交流の中でたくさんを経験し学ばせてもらっていることを感じます。

先日のウエルネスでは車イス体験のお手伝いをしながら、豊聴協の方に覚えてたの手話で自己紹介をしました。「すごく緊張した～」とは言っていましたが、実際に手話でコミュニケーションできたことは、うれしかったと共に自分にできることを考える機会になったようです。

①

「やりたいことはやってみりん」

幸小 五年 中根 暖

ぼくの左手は生まれた時からあまり動きません。頭の中で「動けえ」と命れいしても、ぜんぜん言うことを聞いてくれません。

学校では工夫をしたり、先生や友だちに助けをもらったりしてうまく生活できていると思います。でも、転んだりぶつがるとだきうしやすいので、体育はできないことがあったり、しえん員の先生とぼくでちがうことをやったりしていました。友だちと遊ぶのは大スキだけど、体育はみんなとできないからつまらないしきらいな教科でした。

三年生の冬、なわとびの授業で友だちは二重とびがたくさんできるようになって、ぼくだけ一回ずつ前とびしかできないので、とても悲しくなっていました。がんばって練習してもできないので、とうとう

「体育があるから学校に行きたくない」と、お母さんに泣きながら言いました。

コケヨ ケー10 20x20

②

お母さんぼくの気持ちを聞いてくれて、悲しかったね。つらいなら、なわとびも体育も休んでいいよ。体育の時間が楽しくなるように、先生たちと相談してみろね。

とせなかをなでてくれました。

四年生になり、初めて男の先生がたんにになりました。やさしくてたくさん遊んでくれるかわい先生のことも、ぼくはすぐに大スキになりました。クラス全員で遊ぶときはやっぱりかいボールを用意してくれたり、ぼくもいっしょにできるルールに変えてくれたのでうれしかったです。

冬になり、またなわとびをやることになりました。ぼくはかわい先生や友だちといっしょにやってみたい気持ちもあつたけど、どうせぼくにはできないからいいや、と思っていました。なわとびをやる日、まよったけれどぼくはなわとびを持たずに学校に行くことになりました。お母さんはそのことを何も言わなかったけれど、

コケヨ ケー10 20x20



てづくり新聞で中根あさひさん・暖さん姉弟が優秀賞を受賞し
10月6日の中日新聞に紹介されました



中日新聞

だれもが**主役**になれる場所



さわって楽しむ絵本
フェルトや毛糸、ボタンなど
身近な素材で作られている

さくらピアは一日平均18人の利用があり、しょうがいのある人が楽しめるイベントや講座を開催しています。みんなが主役になれるように講師をしょうがいがある人がしている講座もあるそうです。児童室には、しょうがいの有無に関係なく楽しめる絵本コーナーがあります。文字の下には点字、絵は立体になっており、さわって

工夫がいっぱい さくらピア

しょうがいのある人が集い交流する「豊橋市障害者福祉会館 さくらピア」。運営の工夫を取材してきました。

えがお新聞

発行者

幸 小学校六年
中根あさひ

りつけてあります。体育館に実際に宿泊をする避難所体験も行ったことがあつたそうです。しょうがいのある人が利用するさくらピアには、だれもが楽しく安全に利用できる工夫がたくさんありました。



緊急時に各室に設置されている

楽しむことができず。すべて手作りだそうなんです。設備面では、みんなが使いやすいトイレやわかりやすい表示がされています。体温調節が難しい人にもスポーツを楽しめるように、体育館にはエアコンがあります。防災への取り組みとして、ロビーや会議室に、聴覚にしょうがいのある人に危険を伝えるパトランプと文字で情報を伝えるテレビが取りつけられています。体育館に実際に宿泊をする避難所体験も行ったことがあつたそうです。しょうがいのある人が利用するさくらピアには、だれもが楽しく安全に利用できる工夫がたくさんありました。

編集後記
「心がやわらかい子ども、いろいろな人とふれあうと、自然に理解する気持ちが生まれると思う。」という本田さんのお話がとても心に残りました。緊張したけれど取材をしてみてもよかったです。これからいろいろな人に会って話をしてみたいと思います。



手話のみで話を語る本田さん

お仕事インタビュー 手話通訳士

さくらピア職員 本田栄子さん

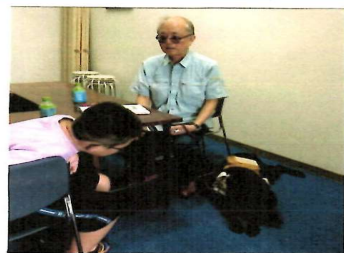
耳の聞こえないご夫婦の出産につきそった時のこと。分べん室の前で心配して待つご主人に、今、赤ちゃんの産声が聞こえましたよ。と手話で赤ちゃんの誕生を伝えたといいエピソードを教えてくださいました。このように、手話通訳士は、困った時だけでなく、人生を豊かに進むための場面に立ちあうこともあるそうです。表現が豊かな本田さんの手話と、その場を想像し、温かい気持ちになりまし

用紙提供：豊橋中日会

盲導犬



愛知県には約40頭 豊橋には1頭



取材中のジエム。鬼つかさんと喜ぶし始めて2年。とてもおもしろい体験です。ほえんことはないそうです。

みなさんは盲導犬に出会ったことはありますか。
豊橋で盲導犬ジエムと暮らしている鬼つかさんにお話を聞きに行ってみました。

ジエムは大切なパートナー

鬼つかさんはジエムと出かける時、曲がり角を止まって教えてくれるジエムの合図に頭の中に描いた地図を重ねて指示を出しています。曲がり角の信号機の音、お店のにおいも覚えているそうです。

「ジエムと二人で名古屋に行くと、無事に帰ってくる。ジエムのほのぼのとした感じが伝わってくるんだよ。」
ぼくは「二人」という表現に、鬼つかさんとジエムのさすなを感じました。
視覚しようがいのある人に位置を伝える時は、時計の短いはりにたとえて知らせる「クワックボジション」という方法があります。
また、道で出会った時などは、「中根暖です。こんにちわ」と名前を言ってもらえるのがわかりやすいそうです。
盲導犬を育てるにはボランティアや訓練士をはじめ、たくさんの方の協力が必要です。鬼つかさんは盲導犬に関わってくれる人々への感謝の気持ちを、ジエムといっしょに盲導犬をみんなに知ってもらおうと活動しているそうです。

守ずな新聞

発行者
幸 小学校五年
中根暖



編集後記

鬼つかさんとジエムは大切な家族で、とても幸せだと思います。
「いろいろな人がいるけれど、相手のことを決めつけずに話をしてみよう」と。
盲導犬や視覚しようがいのことだけでなく、鬼つかさんからぼくたちへのメッセージもみんなに知ってほしいです。



鬼つかさんは約40gととても軽い。重さの半分にすれば持ちやすい。

これは便利 にいろいろリーダー

色を知りたいものを小窓に当ててボタンを押すと、色を読みあげてくれる機械があります。その名も、「いろいろリーダー」。約40種類の色を見分けることができます。目が見えなくても服を選ぶときや、くつ下の組み合わせに困ることがあるそうです。
にいろいろリーダーで色を確認できると、とても助かるそうです。

用紙提供：豊橋中日会

福祉や手話に魅力 優秀賞の国員賞受賞 中根暖さん

「あひる」の作文、くしや手話のことなどを知りたて、取材しました。さくらアをさくらアと本田さんのみりよが伝わるように、写真をとり直したり記の下書きを伺いました。

盲導犬との絆取材 中根暖君

【暖君の作文】取材の時のメモを直して記事にまとめて作業が1週間がかりになりました。読みやすいように見出しの文字や色を工夫しました。

鬼つかさんとジエムのこ

完成までに時間がかかったけれど、楽しく作る事ができる場所になりました。さくらアがどんな施設か、見出しを読んでもらうことができました。

【講評】「どれも主役になれる場所」の主見出し、工夫がいっぱいさくらアがどんな施設か、見出しを読んでもらうことができました。

また、スボットよはし賞の「さくらア新聞」にもありましたが、リード文という記事の内容を要約している記事があるものすごいことです。取材したことをわかりやすく伝えていきます。NIEコーディネーター 岩井伸江

とが伝わるように作りまし かつたです。新聞作りはとても楽し かつたです。【講評】盲導犬暮らしの記事の中で、鬼つかさんの言葉には色をつけ、目立たせています。たぐさんのことを覚えてもらったり、考えさせられたりした取材の中で、特に心に残った言葉をうけて紹介できたことは、暖くんがインタビューの内容を上手に整理できたからですね。イラストやカラーも効果的で、すてきな新聞になりました。(同)

中日新聞より

* * * * *  **野外訓練に参加して**  * * * * *

岩瀬 秀子

9月23日(日)豊橋総合動植物園で行われた野外訓練会に参加しました。昨年は台風で中止になってしまい、また、アジアゾウのマーラが誕生して公開になった時行って以来、しばらくぶりで今年はとても楽しみでした。お天気は、うす曇りの晴れ、暑くもなく過ごしやすいです。早めに出発し、受付を済ませ、東門前で待機。大勢の方が参加されました。私は関節リウマチで長い距離を歩くのは苦手な為、車いすを園で貸していただきました。

役員の方のお話、注意事項を聞き、クイズラリーから始まりました。シロクマの水中での餌やりを見たかったけれど人気者のシロクマが1頭亡くなったそうで、お目当てが無くなりがっかりしましたが、クイズラリーのお陰で多くの動物の名前や習性、普段さらっと読む動物の解説も答えがわかるまでよく読み観察することができました。他の参加者の方ともクイズの答え探して会話が弾みました。

かばやキリン、ペンギン、サル、オランウータン、シマウマや珍しい動物を見ることができました。昼間じっとしているハリネズミは、暗いところでは、すばしっこく運動している姿も見られたりしました。

博物館では本物の恐竜の化石が展示してあり、その前で写真をとるために車いすから立ち上がろうとしたところ、通りがかりの方に「なにか手伝いましょうか？」と気さくに声を掛けて頂き、見守ってくれました。うれしい気持ちになり、お礼を言いました。

午前中はクイズのお陰で時間の無駄なく過ごせ、お昼集合時間にも間に合い、係の方から参加賞とお弁当をいただきました。参加賞渡しは、小さな子供さんも手伝ってくれていたようで心がほっこりしました。お弁当もにぎやかに詰めてあり、ふたを開けてびっくり。おいしくいただきました。午後からはだんだん親子づれが増え、込み合ってきたのでゆっくりと無理せず園内を見回りました。

園内も随分整備され、多くの動物がいて驚きました。展望台に上って全体をみたら、広い園が一望でき、遊園地には珍しいレーシングカー乗り場もできていました。今度来たときは、今回見れなかったライオンとかカピバラも見学したいと思います。車椅子押しで頑張ってくれた主人も随分楽しめたようです。楽しい一日を過ごせました。

役員の方やスタッフの方による企画の計画や準備、本当にありがとうございました。



30 年度 あゆみ学園Q&A 第 3 回目報告

平成 30 年 9 月 12 日実施

今回は、ほし組のお母さんに事前にアンケートをとり、テーマは「知的障害児の生活について」となりました。

現時点であゆみ学園にも知的障害をお持ちのお子さんが多く、新城のお子さんもいらっしゃるのとことで、お子さんが知的障害をお持ちの先輩お母さん方、新城在住のお母さんにも参加いただきました。お母さん方から、テーマに沿ってお話をいただいた後、質疑応答の時間を設けさせていただきました。

-
- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>Q1. それぞれの進路を決めた理由は？</p> <p>Q2. きょうだいへの告知や家族の受け入れは？</p> <p>Q3. 利用している福祉サービスは？</p> <p>Q4. あゆみ学園など療育施設の卒園後、リハビリはどのくらいの頻度で入れるのか？</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

〈 あゆみ学園→新城おひさま→新城おひさま・こども園併用→現在：豊川特別支援学校小1・男子・ダウン症候群 〉

- A 1. 新城からあゆみ学園に通うのが苦痛だった。新城には、おひさまとこども園の2つ。当時オムツが取れていなかったため、おひさまを選択。
特別支援学校を選択した理由は、階段を下りるのが大変だったことと、学習よりも身辺自立を優先させたかったこと。
- A 2. 5才妹・2才弟。
妹には説明していないが、身辺自立に関しては本人を追い抜いている。
弟と本人が同じぐらいのレベル。
父親もよく手伝ってくれる。本の読み聞かせを担当してくれている。
祖父からは、以前は親のメンタルを傷つけるような発言があったが、今ではとても可愛がってくれ、スクールバスへの送迎もしてくれている
- A 3. 豊川の放課後等デイサービスを、学校が早帰りの日に、週2日利用している。
- A 4. ST・OT共に、月1～2回。
医療機関に、どのくらいの頻度が望ましいのか聞いてみるとよい。週1回くらいと言われたが、そんなには入れないし、親の都合もある。
完了期も聞くとよい。

〈 あゆみ学園→保育園→豊橋地域小学校支援級→豊川特別支援学校→くすのき特別支援学校
→現在:生活介護・社会人1年目男性・ダウン症候群 〉

A 1. 指定園ではない校区外の保育園に4年間通った。園長先生が受け入れてくれた。各学年1クラスの少人数。行った瞬間に「ここがいい!」と思った。

地域の小学校を選択した理由は、通学団で通わせたいという思いがあった

ため、親も一緒に通学した。中学校からは特別支援学校に通ったが、友達もたくさんできた。

現在は、送迎付きの生活介護〈カフェ〉に通っている。気分にはムラがあるため、仕事をしたりのんびりしたりいろいろ。

A 2. 高3妹・高1妹

きょうだいへは、いつ伝えたか、伝えたかどうか分からない。

A 3. 小学校中学年までは当時の児童デイサービス(現在の放課後等デイサービス)の情報もなかったため、毎日一緒に下校していた。高学年から児童デイを利用し始め、高校生からは、週5日利用した。そこでは、当番があったため、洗濯物たたみや皿洗いができるようになった。利用することに後ろめたさがあったが、利用できてよかったと思っている。

〈 あゆみ学園外来保育→高山学園→保育園→豊橋地域小学校支援級→豊川特別支援学校→くすのき特別支援学校→現在:生活介護・社会人2年目女性・ダウン症候群 〉

A 1. 当時身辺自立ができておらず、高山学園へ。

身辺自立ができてから保育園へ。友達がお世話をしてくれた。

安全性の面で不安があり、豊川特別支援学校ではなく、地域小学校の支援級を選択した。自分の名前も書けるようになった。中学校からは豊川特別支援学校へ。高校3年時、開校とともにくすのき特別支援学校へ。

小学生の頃から、いろいろな事業所のお祭りなどに参加していて、現在通っている生活介護が良いと思った。ゆったりとした自由に過ごせるグループに入って元気に過ごしている。

A 2. 25才姉

生まれつき心臓が悪く、4~5年はダウン症より心臓が悪い方が大きかった。

いつ告知したか分からないが、ダウン症についての本がたくさんあったため

気づいた。重荷にはなっていたようだ。校区の小学校には支援級がなく、本人は校区外の小学校へ通った。きょうだいは辛い思いもしたようだった。

A 3. 小学生の頃は放課後等デイサービスがなく、夏休みはとても困った。中学生から放課後等デイサービス(18時頃自宅まで送迎してくれる)と日中一時支援を利用した。現在の生活介護は、16時に帰宅。

その事も考えて仕事をするよ。放課後等デイサービスを当たり前と思っていると卒業後とまどうことになるのでは?最近、ショートステイを利用するようになった。自分も動きたく、16時に帰って来ては困ることもあるため。これから、福祉サービスももっと良くなるのではないかと思う。

A 4. 小学校3年生までは市民病院。中学3年生まではこども発達センター。

〈 あゆみ学園外来→くすのき学園→高山学園→保育園→現在:豊橋地域小学校支援級5年男子・ダウン症候群 〉

A 1. あゆみ学園外来の時に歩行できるようになり、くすのき学園に入園するしかなかった。「どうしてうちの子だけ…」と思ったが、結果良かった。その後先生の勧めで、高山学園に入園。バスの送迎があったが、泣くこともなく乗って行き、親は寂しかった。

保育園は、地元の保育園に入園させたかった。高山学園と交流のある保育園だったため入園しやすかった。保育園のほとんどの子が同じ小学校へ進んだこともあり、学校生活はスムーズだった。何度も教育委員会に呼ばれ、特別支援学校を勧められた。5年生になる時に、姉が卒業するため、くすのき特別支援学校を考えた。くすのきの先生が来てくれ「ここまで来たなら頑張りなさい。今学校を変えるメリットはないよ。」と言われた。みんなと卒業したいという思いもある。問題はいろいろあるが、うまくいっている。

A 2. 中1姉

告知はしていない。「私は保育園にひとりで行くのに、なぜ弟はお母さんと一緒？私もくすのきに行きたい。」と言ったため、一緒に連れて行き一日過ごしたが、「もう二度と行かない。」と言われた。

小学校は、支援級か特別支援学校か家族で話し合ったとき、姉が、「同じ学校に来てほしい。」と言ってくれたため、4年間一緒に通ったものの、弟を特にサポートすることはなかった。

祖父母はいないので、万が一親が倒れた時のために、ファミリーサポートに登録したり、放課後等デイサービスを利用している。

A 3. 就学時、自宅近くのデイサービスに通ったが、「利用を控えてほしい」と言われてしまった。今は別の放課後等デイサービスの事業所を利用しているが、とても楽しく通っている。そのため母が学校に迎えに行くと、残念がる。放課後等デイサービスには、他の学校の友達もいて良い。学校の友達の名前よりも多く出てくる。

A 4. くすのき学園卒園後こども発達センターでOT・STを受け始めた。両方とも突然「今日までね。」と打ち切られた。相談員に相談したら、放課後等デイサービスの事業所によってはSTを受けられるところがあった。月2回土曜日にリトミックも受けている。

*たくさんの質疑応答が飛び交い、有意義な時間になったと思います。



30年度 あゆみ学園Q&A 第4回目報告

平成30年11月14日実施

今回は、ゆき組のお母さん方に事前にアンケートをとり、テーマは「豊橋特別支援学校の生活と卒後について」「福祉サービス・年金について」となりました。
児童部スタッフの他、豊橋・豊川・田原から、社会人のお子さんを持つ先輩お母さんにもお越しいただき、お話をさせていただきました。全体での質疑応答の後、地域ごとに分かれての質疑応答の時間を設け、さらに具体的なお話をさせていただきました。

.....

〈 35才女性・豊橋養護学校卒業・豊川市在住〉

週5日2ヶ所生活介護を利用している。ショートステイも利用している。

〈 27才男性・豊橋養護学校卒業・豊川市在住 〉

週5日生活介護を利用している。医療的ケアがあり、ショートステイを利用できる施設がない。

〈 30才女性・豊橋養護学校卒業・田原市在住 〉

授産所に週5日通えるが、週1日は生活介護を利用している。作業があるため月3000円程度の工賃もいただいている。2年後に、自宅近くのグループホームに入居する予定。

〈 19才男性・豊橋特別支援学校卒業・豊橋市在住〉

週5日3ヶ所の生活介護を利用している。二か所は作業をしており、工賃も発生する。もう一か所はレクリエーションや教室活動を中心にすごしている。

Q1. 学校卒業後通っている施設を選んだ理由は？動き始めた時期は？

A. 環境が変わるとパニックを起こしてしまうため、環境と、スタッフの雰囲気を決めた。ショートステイもスタッフ重視で決めた。

卒業前に学校の先生と相談して決めた。

A. 卒業後すぐは、週2日生活介護、週5日在宅だったが、施設が立ち上がり3か所ではあるが週5日通えるようになった。医療的ケアがあると利用できる施設が限られるので悩んだ。ショートステイも利用できる施設があまりなかったが、進行性の病気のため重度になり、自分が体調不良の時もあり自分の休息も必要だったため、ここ数年は新設の施設もあり利用していた。現在利用していた施設が呼吸器使用の利用者の受け入れをストップしてしまったため行くところがなく不安。

A. あゆみ学園在園時、他のお母さんと施設見学をしていた。

進路を考えたのは、高等部に入ってから。自分が思っていたより楽に入ることができた。

- A. 生まれた頃、制度が変わっていく時代だった。あゆみ学園入園時は契約という形ではなく措置として入園した。措置とは、あゆみ学園を選ぶのではなく、行政からあゆみ学園へ行って下さいと決められる感じ。途中で支援費制度が施行され、福祉サービスができて、市役所の障害福祉課が園に来てサービスの利用について、また受給者証の発行についての説明をするような時代だった。障害者自立支援法施行後はあゆみ学園も契約となった。

あゆみ学園在園時から、お母さん同士でデイサービスの見学や施設見学などもしていた。

中学部2～3年から日中一時も利用するようになり、同じ時期くらいから卒後の進路について動き始めた。

10年前と比較して施設を選べるようになったが、本人の意見もあるので時間はかかった。

Q2. 入浴介助は利用しているか？

- A. 生活介護施設で入浴があるため平日は自宅では入らないが、週末はショートステイを利用するか自宅でヘルパーを利用している。
- A. 父親が怪我をし、一人で入れるのが大変になり、3年前より2週間に1回くらいヘルパーを利用。
- A. 父親が入浴介助中に腰を痛めたのをきっかけに、25才頃から週2回ヘルパーを利用。それ以外の日は自分たちで入れている。子供が女性のため、父親と入浴するのに生理などの問題も出てきたが、今は習慣となっている。
- A. 年少時に支援費制度ができた。年少時、週1回の利用から始め、徐々に増やしていき現在平日は毎日利用。中学部1年から男性ヘルパーが支援してくれている。生活介護施設2ヶ所は入浴があるが、そこでは入浴はせず、帰宅後にヘルパーと入浴。土日は、家庭で主に母親が入れている。

地域ごとの質疑応答

〈豊橋〉

Q. 入所施設とグループホームの違いは？

A. 入所施設は、日中活動も一体的に行っている障害者支援施設。主に、夜間等の日常生活支援を「施設入所支援」、日中の時間は「生活介護事業」というように24時間体制で成り立っており基本集団生活となる。

グループホームは、主に夜間等の日常生活支援のみなので、日中はどこかの事業所（生活介護や就労先）へ通うことになる。少人数で地域で生活することを目標としている。

〈豊川〉

Q. 豊川市内で、ショートステイ・放課後等デイサービス・入浴介助がある施設はどこがあるのか？

- A. 豊川では、ショートステイは2つしかなく、豊橋の施設を紹介。
放課後等デイサービスも、肢体の受け入れが少なく要相談になる。

また、豊橋特別支援学校に行くのなら、豊橋から学校・自宅まで送迎してくれるところは少ないから要確認。

入浴介助も豊川は厳しく、小学生以下は無理かもしれない。

ヘルパーではないが、本宮の湯には障害者用の家族風呂が別であり、予約をすれば入ることができる(車椅子も可)。

〈田原〉

Q. 田原市内の事業所について

A. 田原は、肢体の事業所が少ない(蔵王苑か菜の花くらい)ので、行くところがない。

医療的ケアがあるとさらに難しいかも。市外の施設に送迎をしている人もいる。入浴介助は、問題なく使える。

大きくなったら介助が大変になる。体が長くなると持ち上げるのが大変になるの

で、移動は後ろから介助(引きずるような形になってしまうこともある)。2階に連れて行くのは無理になるので1階で生活できるように工夫すると良い。

*年金については、「くらたあ」の年金記載部分を参考資料として配布させていただきました。

次回は1/16を予定しております。

福祉機器展盛大に開催される!!

「みんなの福祉機器展 in 豊橋」

於:豊橋保健所 保健センター 30.11.24~25

「みんなの福祉機器展 in 豊橋」～見りん・触りん・乗ってみりん～と銘打った福祉機器展が11月24～25日に保健所・保健センターで開催されました。今回は3回目で29の業者の方に出展していただきました。主催は豊橋市(豊橋市こども発達センター)で東三河(豊橋、田原、豊川)父母の会が共催です。浜松方面からも4～5名の方たちが来られ、2日間で1,200名余の方にご来場いただきました。車いすやコミュニケーション支援機器、座位保持装置、介護食、福祉対応車輛等多くの福祉機器の展示がありました。車いす一つとっても最近の技術革新は素晴らしくとても機能的に出来ていてデザインも目を引くものが多く出展されていました。子どもたちの日常生活の暮らしやすさにこれから少しでも役立つことができればと思います。

T



【社協主催行事】

平成 30 年度 障害児(者)とボランティアの集い

30. 11. 11 さくらピア

11月11日(日) さくらピアで障害児(者)とボランティアの集いが開催されました。当日は父母の会会員26名のほか、育成会、各施設の方たちおよび民生委員、桜丘、藤の花、中央、豊橋高校生のボラさん等を含む総勢約180名が参加し、賑やかに楽しく開催されました。

今年のテーマは「みつけよう ピースの花」です。

今年も5班に分かれて、空缶をつかった楽器作りやピースのモニュメントづくりをボラさんに手伝ってもらいながら「真剣に一生懸命」作りました。創作に挑戦しているみんなの表情は真剣そのものでした。

その後は昼食です。さなえ会の皆さんが作ってくれたとても美味しい「カレー」に舌づつみをして何杯もお代わりをしてしまいました。ご馳走さま。お昼休みには中央高校生による素晴らしい音楽演奏です。

午後は、ボール運び、楽器演奏や歌、そして巨大な風船遊びです。演奏と歌の時間はリズムに乗って腰や手足を動かしたり、車いすで頑張っって踊ったりして、風船あそびはみんなで飛ばしてワイワイガヤガヤと楽しいひと時を過ごしました。

普段体を動かす機会の少ない子供たちにとってとても楽しい一日となりました。お疲れさま。

THANK
YOU

＜ボランティアの集いに参加して＞

毎年あんなによくボランティアと僕たちを楽しませてくれてありがとうございます。毎年のように僕らとボランティアとのつながりは大きなものを感じています。もっと仲間とつながりがあればいいなとこの頃思いました。桑原さんはかっこいいし大きな人だと思います。僕たちもあんな人になりたいです。一人ひとり心遣いを心遣いをも知っているようで感心します。最後の大きなボールが一人ひとりの手に触るように工夫をしておりました。それを感じます。

金子昌義 ケンケンより

障害児(者)とボランティアの集い
～みつけよう ピースの花～



昌義さんとお母さん

【愛肢連行事】

わいわいカーニバル ～スポーツフェスティバル～

日時：10月27日(土) 10:30～14:30

於：岡崎市中心総合公園 武道館

昨年度までは豊橋市総合体育館第二アリーナで開催されていた「わいわいカーニバル」ですが、今年から岡崎市に場所は移り、内容もリニューアルし開催されました。

豊橋からは自家用車で行かれる方もいらっしゃいましたが、市役所のバスを出していただくことができたので、リフト付きバスで岡崎に向かいました。

準備体操は今まで通りの「みんなの体操」。豊橋のこどもたちに先頭に立ってもらい、お手本として体操をしてもらいました。

その後の競技は風船ゲーム、玉入れ等チーム戦。恒例のパン食い競争はボランティアさんにも参加してもらいみんなそれぞれに楽しんでいました。

昼食休憩タイム後は、障害の子やきょうだいなどの子どもたち対象のさかなつりゲーム。さかなに当たりがついていたらコーラさん提供のバスタオルがもらえるのでとにかくみんなたくさんの魚が釣れるよう介助者も必死に頑張っていました。

アトラクションとして愛知産業大学三河高等学校のよさこいチームのみなさんが来て下さり、みんなで踊りをみたり一緒に踊ったりと楽しいひとときを過ごしました。

今年は場所もボランティアさんも変わり、どんなわいわいカーニバルになるのかな？とワクワクした気分でみんな岡崎に向かいましたが、様々な市町の方たちとの交流を図りながら楽しい一日を過ごすことができました。

岡崎父母の会の役員のみなさん、岡崎市ボランティア連絡協議会のみなさんありがとうございました。また、参加者のみなさんもお疲れさまでした。

また来年も楽しみましょう！



【愛肢連行事】

第 36 回 愛知県心身障害児(者)福祉大会

愛知県心身障害児(者)福祉団体連絡協議会主催の第 36 回愛知県心身障害児(者)福祉大会が、12月1日(土曜日)に、「障害者週間」にあわせて今年も開催されました。

愛知県では、この大会において、心身の障害を克服して自立更生をされた方や、更生援護などに功績があった方を讃え、知事表彰状の授与が行われました。

また、合わせて協会長表彰の授与も行いました。

今回豊橋市父母の会より、鈴木智江子さんが宮本悦子副知事より愛知県知事表彰の賞状を授与されました。協会長表彰は松田会長より豊橋の杉原康予さんと岩瀬世史子さん田原市の堀部美香さんが自立表彰を授与されました。(岩瀬さんは欠席のため代理授与)

また第二部の記念公演では名古屋の福祉施設でお仕事をされている丹下靖さんのミニコンサート。障害を持っている人自身や介護する家族の心の中をそのまま歌にし披露して下さり、みんなの心に染み渡っていました。



宮本副知事と鈴木智江子さん



杉原康予さん



堀部美香さん

【豊障連行事】

豊障連文化祭

30. 11. 18 (日) さくらピア

暖かい日差しの11月18日、恒例の豊障連文化祭が開催されました。

オープニングはスマイルさんの和太鼓とコーラスです。父母の会から菅沼亮也さん親子、中林咲貴さん親子がメンバーとして参加して下さり、大いに盛り上がりました。

今年、カラオケ大会は今までどおりロビーで行い、ファイナーレのビンゴ大会とお菓子投げ以外の作品展やバザー等は1～3Fの各部屋で実施されました。

作品展は各自腕を競って作製したさおり織り、イラスト、絵画、書道等多くの作品が展示されました。心のこもった素晴らしいものばかりで参加者は感心しながら見て廻りました。

ロビーのカラオケ大会では各自自慢の咽を披露してご満悦顔でした。お団子、五平餅、豚汁は大人気で瞬く間に売り切れました。バザーで買い物をしたり、喫茶室で一休みをしたり、各自それぞれ楽しんだ後、昼食です。

全員でのビンゴゲームは数字が発表されるたびに大きなため息が漏れ、次は何番と叫ぶ声も聞こえました。ビンゴで賞品がなければ、最後のお菓子投げで奮闘です。わいわい、キャー・キャーと大変盛り上がり、みんな真剣にお菓子を拾い上げお土産も出来て満足顔で閉会となりました。

今日も楽しかった一日が終わりお疲れ様でした。

T N



作品展：笑い太鼓



作品展：ふくふく

<とても楽しかった文化祭>

11月18日にさくらピアで開かれた豊障連文化祭に参加しました。

オープニングでは、コーラス&和太鼓グループ『スマイル』のメンバーとして、太鼓の演奏とコーラスを披露しました。私はまだ始めたばかりなので今回が初舞台でしたが、指導して下さる先生も周りのメンバーも聞いてくださるお客さんも、みんな優しく暖かい雰囲気だったので、緊張することなく演奏し楽しく歌うことができました。

その後のカラオケ大会でも、キロロの『ベストフレンド』を歌いましたが、お客さんにたくさん拍手をしてもらいすごく嬉しくなりました。他の方もいろいろな曲を歌っていましたが、DA PUMPの『USA』の時にはみんなで盛り上がり、私も客席で一緒に踊りました。

クラフトコーナーでは、触るとつぶつぶがある点字用紙でポチ袋を作り、さをり織り体験コーナーでは、大好きなオレンジ色の糸を使ってコースターを織り、素敵なお土産も持ち帰りました。

お昼にはお団子や豚汁を食べたり、ホットコーヒーを飲んだりして、お腹も大満足でした。

待ちに待ったビンゴ大会では、一等賞の牛肉を狙ってがんばりましたが、ぜんぜんビンゴにならずがっかりしました。でも、最後のお菓子まきでは、2階からパラパラ降ってくるお菓子をたくさん拾い、とてもハッピーな気分になりました。

みなさんどうもありがとうございました。来年も楽しみにしています。

豊橋特別支援学校 高等部3年 中林咲貴



心を込めて歌う咲貴さん スマイルのコーラス

<文化祭に参加して>

私は、11月18日に、開催された豊障連文化祭に参加しました。今年も、カラオケに、参加させていただいたのですが、いつもよりも順番が早かったので、緊張しました。お昼は、いつものように、豚汁と、おにぎり、だん平を食べました。食後にコーヒーではなく、今回は、初めて煎茶をいただきました。いろいろな催しがあって楽しい1日でした。

伊藤寛美



熱唱する寛美さん

【豊障連行事】



豊障連体育祭



10月28日(日)、さくらピアにて豊障連体育祭が行われ、豊橋特支高等部3年の息子と初めて参加しました。

息子は、小児交互性片麻痺という難病で脱力発作を繰り返し起します。体力もない為、週末に体育祭の様な体力を使う行事に出る事は抵抗があったのですが、最近、リハビリや学校の訓練会に本人が積極的に出たいという様になったので思い切って参加申し込みをしました。

オープニングの優雅な車いすダンスに始まり開会式へ。

午前中は5種目、午後3種目の競技が予定されていました。

全員参加種目と希望者種目に分けられていましたが、せっかくなので全種目に参加したいと思っていました。

しかしながら、息子は私と一緒にないとモジモジして出ようとしません。

3種目の玉入れの時、「車いすに乗ってでは、玉が拾いにくいよね？発作が無いなら車いすを降りて玉入れに参加しよう？」と誘い一人で参加したところ自身がついたのか、次の車いすリレーでは、自分から一人でやる!!と言い出しました。

車いすリレーは、用意された車いすに乗っての競争ですが、息子は「My車いす」での参加だったので、車いすの操作にも慣れ自信を持って競技に望めたようです。

その後は、昼食もモリモリ食べて全ての競技に参加する事が出来ました。

終わってから、疲れた様子を見せてはいましたが、大きな発作も無く、父母の会で知り合った先輩、後輩と楽しそうに交流している姿を見て、体育祭に参加して良かったと思いました。

準備等に携わって下さった方々に感謝します。

ありがとうございました。(尾崎)



車いすリレー



パン食い競争



【豊障連行事】

さくらピア避難所体験

～備えを学ぶ 講演「災害時に役立つ薬の話」～

平成 30 年 9 月 29 日(土)

今回で 10 回目開催のさくらピア避難所体験に初めて参加させていただきました。午後からの講演では講師に豊橋市薬剤師会 防災担当理事の中神由香氏を迎え、「災害時に役立つ話」をテーマに講演が開かれました。会場はさくらピア 3 階大会議室で、ほとんど席が埋まり、大勢の方が聴きにいられていました。自然災害が身近になる昨今、皆さんの関心の高さがうかがえ、参加者も民生委員、学校関係者、市職員、高齢の方・障がいのある方、その家族など多方面からの参加が見受けられました。特に参考になった内容をお知らせします。

- かかりつけ薬剤師を持つ（かかりつけ医師のように薬剤師も選ぶ時代）
- 災害時にはおくり手帳を持って避難（医療用の薬だけでも 2 万種類もあります！）
- 薬の写真を撮っておく
- 災害時、薬の保管は室温で大丈夫（インスリンなど冷所保存の薬も 1 週間程度大丈夫。他人の薬は使わない）
- 予備薬は 1 週間分用意（密閉容器に入れて）

避難所で医療を受ける

1. 避難所で診察（医師から）* 医師は巡回で常駐していない
2. 口腔ケアをしてもらう（歯科医師から）
3. 薬をもらう（薬剤師から）* 薬局は避難所に常設。薬剤師もいる

避難所以外で避難している人も避難所で災害用カルテをもらうこと（一冊あればどこの避難所でも使える）



講演の様子

とても分かりやすい講演で
参考になりました。
ありがとうございます。



中 神 達 二 氏



会長・中神達二が平成 30 年度厚生労働大臣表彰(更生援護功労者)を受賞
させていただきました。

12 月 7 日に厚生労働省中央合同庁舎で表彰式があり、その後皇居で天皇、
皇后両陛下に拝謁させていただきました。至福の想いで、永年にわたり
皆さまのご支援、ご協力に深く感謝申し上げ厚く御礼申し上げます。

中神



於:厚生労働省講堂(30.12.7)



友だち紹介

No.20



高橋 健斗
(たかはし けんと)

【通所施設名、年齢等】
ふくふく、25 歳

【好きな事・好きな物など】

好きな食べ物は玉子。
好きな事はタブレットで動画を見ること。

【趣味・得意なこと】

ユーチューブを見ること。

【自己 PR・がんばっていること】

毎日、授産所に通っていること。



堀内 麻里
(ほりうち まり)

【通所施設名、年齢等】
ふくふく・しろがね

【好きな事・好きな物など】

音楽、アニメ、ディズニー、キティちゃん

【趣味・得意なこと】

笑顔でみんなを幸せに！

【自己 PR・みんなに言いたいこと】

毎日、楽しく通所しています。
たくさん声をかけて笑顔にしてくださいね。



宮田 七星
(みやた ななせ)

【通所施設名、年齢等】
しろがね・
シーサイド吉前
27 歳

【好きな事・好きな物など】

「ちびまる子ちゃん」などの DVD 鑑賞や E テレ
の番組を見る事。おいしいものを食べること。

【趣味・得意なこと】

歌の絵本を押して、好きな童謡や英語の歌
を聞くこと。

【自己 PR・みんなに言いたいこと】

生活介護の日はもちろん、週末もその日の
スケジュールを気にしています。気まぐれ
な私ですが、妹の名前を呼んだり片言の会
話ができます。このまま元気で笑って過
せたらいいな。



桐山 武憲
(きりやま たけのり)

【通所施設名、年齢等】
しろがね・ちぎり寮
45 歳

【好きな事・好きな物など】

外出（散歩・ドライブ）。
音楽を聞くこと。
好きな食べ物は、さしみ・ギョウザ・
シューアイス

【趣味・得意なこと】

洗濯物を干す・たたむ時のお手伝い

【自己 PR・みんなに言いたいこと】

しろがね・ちぎり寮へ元気に行くこと



<今後の主な行事予定>



- 1月12日(土)** はたちのつとあい・あイトピア
- 1月16日(水)** ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園
- 2月24日(日)** 豊障連&北ライオンズクラブ懇親ボーリング大会
- 3月23日(土)** 定期総会&「心魂」によるミュージカル公演
・あイトピア



○印の参加募集はありません

※予定は順次ご案内いたします

☆あとがき☆

・今回の表紙は、大平智也さんの作品です。「大好きプリンを作りました。」と、コメントいただきました。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらおう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用（1日4時間以上・5,300円）のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。（できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください）

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com